

経営比較分析表

東京都 日の出町

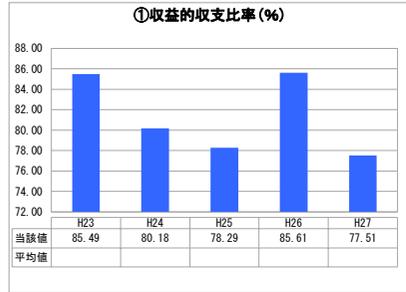
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	99.97	86.42	1,976

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,020	28.07	606.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
17,028	5.27	3,231.12

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



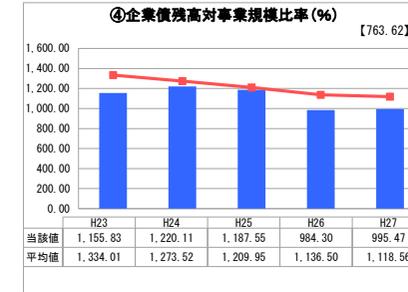
「単年度の収支」



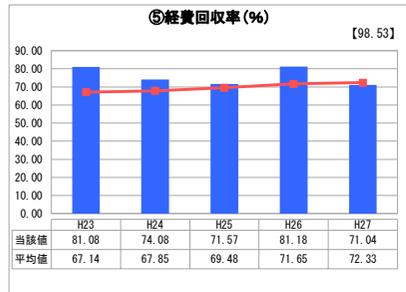
「累積欠損」



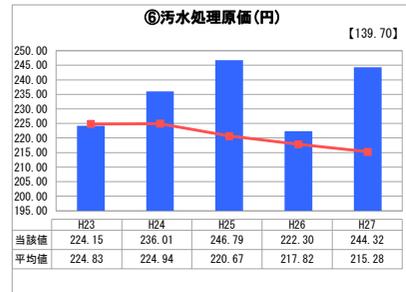
「支払能力」



「債務残高」



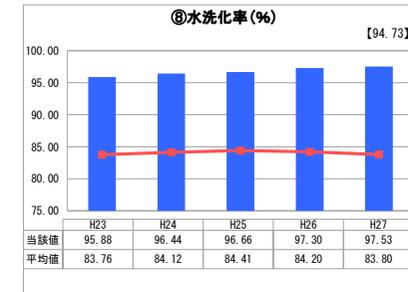
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

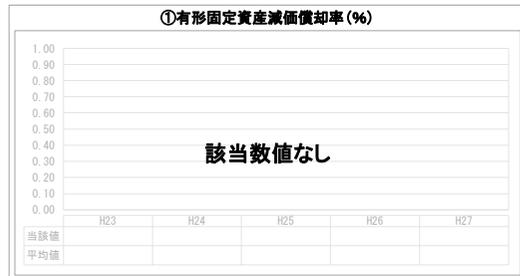


「施設効率性」

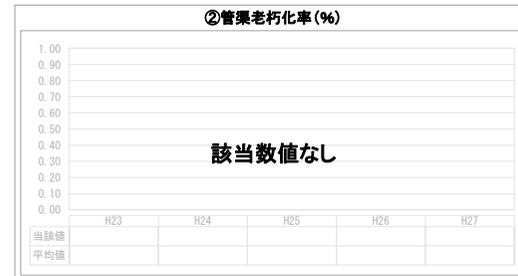


「使用料対象の捕捉」

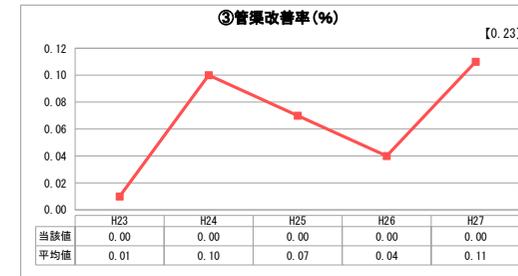
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

日の出町下水道事業は、使用料収入のおよそ50%を大口数社が占めており、その使用料は各事業所の特性から年度ごとに大きく前後します。今年度は使用料収入の減少、不明水の増大、消費税増税によって汚水処理原価が昨年より22.02円増加しています。経費回収率についても、10.14%減と厳しい経営状況となっております。

一方で、地方債償還金は平成25年度をピークに減少しており、今後その減少額も大きく増大することから、経費回収率、汚水処理原価は低減が見込まれます。

2. 老朽化の状況について

日の出町の管きよ施設は布設より32年目を迎えます。数年中にストックマネジメント計画を策定し、計画的な維持管理と老朽化管の長寿命化を目指します。

全体概括

使用料の増収が見込めないため、使用料の見直しを検討しています。平成28年度には経営戦略を策定し、経営基盤強化と財政マネジメントの向上に努めます。

また、維持管理及び建設事業は、数年中に計画的な維持管理と施設更新、負担の平準化を目指したストックマネジメント計画を策定します。未接続世帯への対策については、水洗化率100%を目指し、戸別訪問を実施し、経営安定化に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。